

## 地域母子保健 <地域3> 保健師の役割とリーダーシップ

1. 目的 医療制度改革等の動きの中で、保健師の専門性が問われています。保健師業務のあり方について考えつつ、母子保健分野における課題・評価等を通して、地域での有効な支援のあり方を学び、スタッフのレベルアップを図ります。
2. 期間 平成24年2月16日(木)～2月17日(金)
3. 対象・定員 自治体に勤務する保健師で、全日程参加できる方(経験年数6年以上) 50名
4. 経費 受講料 12,000円(詳細は受講決定通知をご覧ください)
  - 1) 受講決定通知が届き次第、研修開始3日前までに所定の口座にお振込みください。振込手数料はご負担ください。振込みができない場合は当日現金でも受付けます。
  - 2) 請求書が必要な方は各自で作成のうえ本会研修部あてに郵送して下さい。領収書は研修初日に受付でお渡しします。
5. 会場 社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 研修室  
(申込み・問合せ) <住所> 〒106-8580 東京都港区南麻布5丁目6番8号 <電話> 03(3473)8335
6. 申込み等
  - 1) 「受講者推薦・受講申込書」(別紙様式1)を、締切日まで本会研修部あてに郵送してください。本会に郵便が到着した時点で先着順に受付とさせていただきます
  - 2) 所属長の推薦、ご本人の申込み、どちらでも結構です。
  - 3) 研修申込書はホームページからダウンロードすることができます。
  - 4) 申込みは、4月より受付けます。
  - 5) 受講の可否については、締切日を待って可の場合のみ受講決定通知書を送付します。定員の都合等により受講をしていただけない場合は、速やかにお電話致します。
7. その他 本会宿舎のご利用は平成21年度を以って終了しましたのでご了承ください。
8. 申込み締切 平成24年1月6日(金)
9. 研修課程 詳細は未定につき、決定次第、ホームページ(<http://www.boshiaiikukai.jp>)に記載します。  
(参考) 平成22年度に開催した研修内容です。

月日	時間	内容	講師	
一 日 目	9:15	受付		
	9:30	開講・オリエンテーション		
	9:40～10:30	母子保健行政の動向	厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課	
	10:40～12:30	地域診断(課題抽出・整理)と評価	今井 睦子	千葉県医療技術大学校保健学科教授
	13:15～14:30	母子保健分野における危機管理 ～個別を中心に～	中板 育美	国立保健医療科学院公衆衛生看護部主任研究官
	14:45～16:30	母子保健活動における現任教育 (事例検討を一つの切り口として)	中板 育美	国立保健医療科学院公衆衛生看護部主任研究官
二 日 目	9:15～10:30	情報交換		
	10:45～12:30	地域母子保健の展開～支援と仕組みづくり～	福島 富士子	国立保健医療科学院公衆衛生看護部ケアシステム開発室長
	13:30～16:00	今保健師に求められていること ～地域に学び地域とともに～	福永 一郎	高知県須崎富士保健所保健監 高知県須崎保健所長